



厳木高校の歴史について

5月7日(木)は開校記念行事の予定でしたが、休校のため実施できませんでした。その記念行事で話される予定でした「厳木高校の歴史」について紹介します。

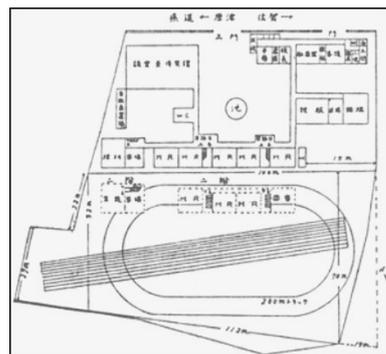
1950

- 1951 (昭和26) **佐賀県立唐津高等学校 厳木分校**として開校。
町立厳木中学校に併設。4年間の昼間定時制で、
1学年の定員が100名(普通科30名、商業
科35名、家庭科35名)。
- 1956 (昭和31) 佐賀県立唐津高等学校が唐津東校・唐津西校に
分離独立。**佐賀県立唐津西高等学校 厳木分校**と
なる
- 1957 (昭和32) **商業科廃止**
普通科50名、家庭科50名の二学級に



1960

- 1961 (昭和36) **新校舎完成・独立・改称**
現在の場所に新校舎が完成
独立し、佐賀県立厳木高等学校と改称
- 1962 (昭和37) この年の入学生から**全日制普通科・
定員200名(四学級)**
- 1963 (昭和38) **クラス数増加**
この年の入学生から定員275名
(五学級)に
- 1965 (昭和40) **全学年五学級(1クラス55名)**



新校舎の図面

1970

- 1970 (昭和45) 「**独立10周年**」記念式典 開校から20年

1980

- 1981 (昭和56) **創立30周年**
「創立30周年」記念式典

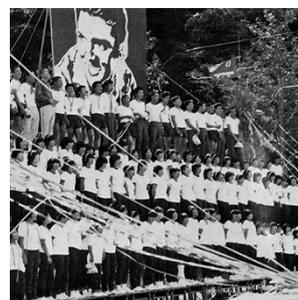


- 1982 (昭和57) **クラス数・定員数減**
この年の入学生から平成23年度全学年まで
四学級。その後、平成24年度～29年度の
1学年のみ少人数四学級

- 1985 (昭和60) **校地拡張(4,120㎡)**

- 1985 (昭和61) **校地拡張(829㎡)**

体育祭の様子
 創立30周年記念誌より



1980

1989 (平成元)

校舎全面改築落成式昭和61年から平成元年にかけて様々な建物を随時改築建築、移動
平成元年5月に完了

1990

1991 (平成3)

創立40周年

「創立40周年」記念式典(11月)

1994 (平成6)

グラウンド拡張工事完了(1月)

2000

2001 (平成13)

同窓会館完成 創立50周年創立50周年記念式典(10月)
記念誌「若杉」発行

2005 (平成17)

緑化整備工事完了(2月)

2011 (平成23)

ユニバーサルデザイン化工事完了(2月)**創立60周年**創立60周年記念式典(11月)
記念誌「若杉」を発行**中庭用テーブル椅子の作成**

2018 (平成30)

募集枠の変更(クラス数・定員数減)二学級・定員80名
(西部学区枠40名、全県募集枠40名)

2020 (令和2)

全学年二学級全学年で二学級
(西部学区枠40名、全県募集枠40名)

中庭用テーブル椅子の作成

**~ 学校長より～学校再開について～**

5月14日(木)の学校再開に当たり、全校生徒に朝の校内放送で「学校が再開されても新型コロナウイルスのリスクがゼロになったのではないということを理解した上で、心と身体の健康を第一に、一定の緊張感を保ちながら充実した学校生活を送って欲しい。」とメッセージを発信しました。

また、教職員は、教室の消毒、机の間隔を空ける、対面形式の活動を控える、生徒の心のケア等を継続し、生徒は、新型コロナウイルスを必要以上に恐れない。毎日の検温、うがいや手洗い、マスクの着用、室内の換気、人との間隔を空ける、大きな声や近い距離での会話をしない等『新しい生活様式』を継続して欲しいと伝えました。

厳木高校では、今後とも生徒たちが安心安全な学校生活を送れるようできる限りの対応をして参ります。新型コロナウイルス対応については先が見通せず不安もあるかと思いますが、保護者の皆様、地域の皆様におかれては、今後とも厳木高校の教育活動に対しご理解とご協力のほど、よろしく申し上げます。何かありましたらいつでもお気軽に学校へご相談下さい。

佐賀県立厳木高等学校長 坂本 康晴

～6月の行事予定～

1	月		16	火	
2	火		17	水	LHR(漢字テスト)
3	水	内科検診(全学年)	18	木	
4	木		19	金	第1回漢字検定(希望者)
5	金		20	土	
6	土	ベネッセ総合学力マーク模試(3年)	21	日	
7	日		22	月	
8	月		23	火	
9	火		24	水	④LHR(人権・同和教育)
10	水	LHR(頭髪服装指導)	25	木	前期期末考査
11	木		26	金	
12	金	唐津地区高校PTA総会	27	土	
13	土	県下一斉模試(2年)	28	日	
14	日		29	月	
15	月		30	火	